

- (15) 歯科 (ア)週1回、(イ)月2～3回、(ウ)月1回、(エ)年数回  
(16) その他( ) (ア)週1回、(イ)月2～3回、(ウ)月1回、(エ)年数回

3 日常の診療所活動の中で診断や治療方針の決定に苦慮する場合、どの様に対応していますか(複数回答可)。

- (ア) 文献等による事例を参考  
(イ) 電話で専門医に相談  
(ウ) テレビ電話で専門医に相談  
(エ) ファックスで専門医に相談  
(オ) パソコンのインターネット(電子メールを含む)で専門医に相談  
(カ) 遠隔医療により専門医に診てもらおう  
(キ) 専門医へ患者紹介する  
(ク) その他( )

4 遠隔医療についてお答えください。

- (ア) 遠隔医療を利用している  
(イ) 遠隔医療を利用したことはない  
(ウ) 遠隔医療は特に必要ない  
(エ) 必要だが利用していない  
(オ) その他( )

5 4で(ア)と回答された方は、利用している遠隔医療の内容をお答えください(複数回答可)。

- (ア) 病理組織、レントゲン写真等の静止画像による診断  
(イ) 血管造影等の動画による診断  
(ウ) テレビ電話による診断、治療  
(エ) 電子メールを利用した症例検討、症例相談  
(オ) 在宅患者のモニター  
(カ) テレビ会議等による学会、研究会、講演会への参加  
(キ) その他( )

6 遠隔医療を推進する上での課題についてお答えください(複数回答可)。

- (ア) ハード、ソフト等の設備費が高価である  
(イ) 医療機器とパソコンを接続するインターフェースが整っていない  
(ウ) 通信費等の維持費が高い  
(エ) 操作が困難である、めんどくさい

- (オ) 通信等の処理速度が遅い
  - (カ) システムが現場のニーズにあっていない
  - (キ) 相談を受けてくれる専門の医師がいない
  - (ク) その他 ( )
- 7 今後、どのような遠隔医療のシステムを希望していますか。  
( )
- 8 研修・研究についておたずねします。計画的に研修、研究日を設け実施していますか。
- (ア) 実施している
  - (イ) 実施していない
- 9 学会・研修会等による短期の出張の場合どのように対処されていますか。
- (ア) 休診にする
  - (イ) 代診医を要請し、確保している
  - (ウ) 代診医を要請するが、確保できない
  - (エ) 診療日の変更など臨機応変に対処している
  - (オ) その他 ( )
- 10 インターネットが可能なパソコン等を有していますか。
- (ア) 保有している
  - (イ) 保有していない
- 11 保健医療福祉関係の情報をどの様にして入手していますか(複数回答可)。
- (ア) 特に入手する方法を持っていない
  - (イ) MR情報
  - (ウ) 雑誌・新聞
  - (エ) テレビ・ラジオ
  - (オ) 学会や研究会の機関紙、雑誌等
  - (カ) 医師会関係の雑誌(ファックスを含む)
  - (キ) ビデオ
  - (ク) パソコンによるオンライン情報(インターネット、パソコン通信、テレビ会議等)
  - (ケ) CD-ROM等
  - (コ) 上記以外の医学関係図書
  - (サ) 役場、保健センター等市町村の行政機関からの通知等

- (シ) 保健所、福祉事務所等都道府県の行政機関からの通知等
- (ス) 官報、国立研究機関等国の行政機関からの通知等
- (セ) その他 ( )

1 2 診療活動以外に関わっておられる保健福祉業務をお答え下さい (複数回答可)。

- (ア) 基本健康診査
- (イ) がん検診
- (ウ) 乳幼児健診
- (エ) 健康相談・健康教室
- (オ) 予防接種
- (カ) 学校医
- (キ) 老人福祉施設等の管理・嘱託医
- (ク) 産業医
- (ケ) その他 ( )

1 3 保健福祉行政に診療所医師又は歯科医師としての意見が反映されていますか。

- (ア) 充分反映されている
- (イ) 反映されている
- (ウ) あまり反映されない
- (エ) 全く反映されない
- (オ) わからない

1 4 貴職が貴診療所で勤務にするにあたり、市町村長、議会や行政の協力・支援はどうか。

- (ア) 十分な協力・支援がある
- (イ) 一応の協力・支援がある
- (ウ) あまり協力・支援がない
- (エ) 協力・支援がない
- (オ) わからない

1 5 1 4で (ウ) または (エ) に回答された方のみ、その理由をお答え下さい。

- (ア) 市町村長、議会や行政の理解がないため
- (イ) 市町村長、議会や行政の理解はあるが、市町村単独では困難なため
- (ウ) その他 ( )

16 へき地診療で困った事例などがあれば照会して下さい（複数回答可）。

診療面：（ア）最寄の医療機関に急患を紹介したが受け入れてもらえなかった

（イ）診断器機があれば患者を転送する必要がなかった

（ウ）専門的診療科の相談に対応できなかった

（エ）患者を紹介しても返事がなかった

（オ）学会発表を中止した

（カ）医療技術の研修ができない

（キ）学位研究ができない

（ク）常に診療所にいなくてはいけないという心理的圧力がある

（ケ）後任がいない

（コ）自治体の理解が乏しい

（サ）自治体の首長とじっくりいっていない。

（シ）行政とじっくりいっていない

（ス）住民でもあるスタッフとの関係がこじれると修復できない

（セ）その他（ ）

生活面：（ソ）親族・親戚、友人等の冠婚葬祭に出席できなかった

（タ）単身赴任を余儀なくされた

（チ）十分な子供の教育ができない

（ツ）日常生活に不便を感じる

（テ）地域での生活に馴染めない

（ト）自由な時間がもてない

（ナ）親族、友人等と疎遠になった

（ニ）親のことが心配

（ヌ）家族が仕事をしたくても仕事がない

（ネ）保育環境が整っていない

（ノ）家族や自分の病気が心配

（ハ）気象条件が厳しい

（ヒ）交通が不便

（フ）住民に活気がない

（ヘ）地域に魅力がない

（ホ）文化的な違和感がある

（マ）物価が高い

（ミ）文化的な施設（美術館、書店等）がない

（ム）施設などが不十分で充実した余暇を過ごせない

（メ）深夜まで開いている商店がない

（モ）住民からいつまでもよそ者扱いをされる

（ヤ）方言が理解できない

（ユ）その他（ ）

17 あなたの家族構成についてお答え下さい。

- (1) 配偶者 (ア) あり (イ) なし
- (2) 同居している配偶者 (ア) あり (イ) なし
- (3) 同居している配偶者以外の家族 子ども     人 その他     人
- (再掲) 1歳未満     人
- 1歳～就学前     人
- 小学生     人
- 中学生     人
- 高校生     人
- 大学生     人
- (4) 別居している配偶者 (ア) あり (イ) なし
- (5) 別居している配偶者以外の家族 子ども     人 その他     人
- (再掲) 1歳未満     人
- 1歳～就学前     人
- 小学生     人
- 中学生     人
- 高校生     人
- 大学生     人
- (6) 単身赴任 (ア) はい (イ) いいえ

18 あなたの住居についてお答え下さい。

- (ア) 独立した専用医師住宅
- (イ) 集合住宅の中での専用医師住宅 (官舎)
- (ウ) 診療所近辺の借家
- (エ) 診療所近辺の持ち家
- (オ) 診療所地区外の自宅からの通勤  
(通勤時間 分、通勤手段：車・電車・船・その他 ( ) )

19 へき地診療所での勤務を続けるために必要なことは何ですか (優先順位をつけて上位3つまで)。

- (1) \_\_\_\_\_ (2) \_\_\_\_\_ (3) \_\_\_\_\_
- (ア) 生活環境 (住宅環境) の向上
- (イ) 子弟の教育の充実
- (ウ) 診療支援体制の強化
- (エ) 医師としての研修・生涯教育の充実
- (オ) 報酬の充実

- (カ) 地元行政の理解と協力
- (キ) 複数医師体制の確保
- (ク) レジヤールの確保
- (ケ) 生活必需品の確保
- (コ) 安定した身分
- (サ) へき地中核病院等を含めたネットワークの中での人事ローテイト
- (シ) 最新医療機器の整備
- (ス) その他 ( )

20 今後へき地医療活動に求められることは何ですか（優先順位をつけて上位3つまで）。

- (1) \_\_\_\_\_ (2) \_\_\_\_\_ (3) \_\_\_\_\_
- (ア) 後方支援病院の役割強化
  - (イ) へき地医療支援の企画・立案・調整を行う中核的機関の設置
  - (ウ) 国や県などの行政的指導力
  - (エ) 広域化による資源の有効活用
  - (オ) 総合的な診療や地域医療に関するガイドラインの確立
  - (カ) 都道府県の自由な裁量によるへき地医療対策
  - (キ) 地域医療に関わる人材の育成、確保と教育の改善
  - (ク) その他 ( )

21 無医地区に対して必要と思われることをお答え下さい（複数回答可）。

- (ア) 医療機関への患者送迎車（船）の運行
- (イ) 診療所からの出張診療
- (ウ) 病院からの巡回診療
- (エ) その他 ( )

22 無歯科医地区に対して必要と思われることをお答え下さい（複数回答可）。

- (ア) 歯科医療機関への患者送迎車（船）の運行
- (イ) 歯科診療所からの出張診療
- (ウ) 病院からの歯科巡回診療
- (エ) その他 ( )

23 あなたがへき地診療所に勤めている理由についてご記入ください（優先順位をつけて上位3つまで）。

- (1) \_\_\_\_\_ (2) \_\_\_\_\_ (3) \_\_\_\_\_

- (ア) やりがいがあるから
- (イ) 働きやすいから (住民や職員がよい)
- (ウ) 自然環境がよいから
- (エ) 義務年限内 (自治医大卒業生) だから
- (オ) 大学医局からの派遣
- (カ) 近隣に両親、親しい人が住んでいるから
- (キ) 両親の跡を継いだから
- (ク) 報酬が良いから
- (ケ) その他 ( )

2 4 今後の貴診療所での勤務のご予定は下記のいずれですか。

- (ア) できるだけずっと長く勤務したい
- (イ) 任期が終了するまで (あと 年)
- (ウ) 後任が見つかるまで
- (エ) 早く辞めたい (理由: )
- (オ) 一定期間の後、再度勤務したい
- (カ) その他 ( )

2 5 今後も現在の診療所で勤務される場合、或いは、一度他の施設に転勤されて、再度現在の診療所で勤務される場合には、何が改善されればよいですか。具体的に記入下さい。

- (ア) 行政との関係 ( )
- (イ) 住民との理解 ( )
- (ウ) 医師住宅 ( )
- (エ) その他、自身のことも含めて ( )

2 6 今後のへき地医療対策にご意見等がありましたら、どうぞ記入下さい。

\* 多数の質問にお答えくださりありがとうございました。アンケート結果を今後の行政施策に反映し、へき地医療対策の充実に努めてまいります。

# へき地中核病院 及び へき地 医療支援病院へのアンケート

(様式3)

- ・ 病院のへき地医療支援責任者または院長もしくは副院長、診療部長等のへき地医療の支援に関係のある方に回答をお願い致します。
- ・ 問いについて、必要な記述または該当する項目をどれか1つ選び記号を回答シートにご記入下さい。設問によっては複数回答もあります。

厚生省健康政策局指導課



へき地中核病院及びへき地医療支援病院へのアンケート(様式3)回答シート

都道府県名： \_\_\_\_\_ 二次医療圏名： \_\_\_\_\_

へき地中核病院名： \_\_\_\_\_

へき地医療支援病院名： \_\_\_\_\_

記入者名： \_\_\_\_\_ 役職： \_\_\_\_\_ 年齢： \_\_\_\_\_ 歳

へき地医療の経験年数： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 現在の施設での勤続年数： \_\_\_\_\_ 年

出身大学名： \_\_\_\_\_ 卒後： \_\_\_\_\_ 年

1.	2 (ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)
(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)	
3. 名称：		時間： 分	名称：	時間： 分	
名称：		時間： 分	名称：	時間： 分	
4. 無医地区名					
巡回診療開始年月					
対象地区住民の人口(人)					
地区まで の所要時 間(分)	巡回診療車				
	巡回診療船				
	その他( )				
巡回診療での診療 スタッフ数(人)	医師				
	看護婦				
	その他				
巡回診療での診療時間(時間)					
一回あたりの患者数(人)					
5.	その他:				
6.	その他:				7.
8.	その他:				
9.	10.	11.	その他:		
12.	13.	14.	15.	16.	
その他:					
17.	18.	19.	20.	その他:	
21.	その他:			22.	23.
24.	25.		26.		27.
28.	29.		30.		31.
32.	その他:				
33.	その他:				
34.					

## へき地中核病院及びへき地医療支援病院へのアンケート（様式 3）

- ・ 病院内でへき地医療支援責任者が決まっている場合は、責任者に記入をお願い致します。責任者が決まっていない場合は、院長もしくは副院長、診療部長等のへき地医療の支援に関係のある方に記入をお願い致します。
- ・ 以下の問いについて必要な記述と該当する項目のいずれか1つの記号をご記入下さい。設問によっては複数回答もあります。

都道府県名： \_\_\_\_\_ 二次医療圏名： \_\_\_\_\_ ;

へき地中核病院名： \_\_\_\_\_ ;

へき地医療支援病院名： \_\_\_\_\_ ;

記入者名： \_\_\_\_\_ 役職： \_\_\_\_\_ 年齢： \_\_\_\_\_ 歳

へき地医療の経験年数： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 現在の施設での勤続年数： \_\_\_\_\_ 年

出身大学名： \_\_\_\_\_ 卒後： \_\_\_\_\_ 年

1. 病院内のへき地医療支援体制についてご記入ください。
  - (ア) 院内でへき地医療支援のための責任者を決めて、院内の運営・調整をしている。
  - (イ) 特に責任者を明確に決めていないが、院長、副院長、診療部長等が対応している。
  - (ウ) 特に責任者を決める必要性がないので決めていない。
2. 病院が担当しているへき地医療支援について (ア) ~ (コ) の支援内容の1年間の頻度についてご記入ください (支援していない内容については記入しないで下さい)。
 

(ア) 非常勤医師 (専門医・総合医) の定期派遣	(年間： _____ 人日)
(イ) 非常勤歯科医師の定期派遣	(年間： _____ 人日)
(ウ) 代替医師の派遣	(年間： _____ 人日)
(エ) その他の医療関係職種 の派遣	(年間： _____ 人日)
(オ) へき地巡回診療	(年間： _____ 回)
(カ) 研修の受け入れ	(年間： _____ 人日)
(キ) 画像伝送やテレビ会議等による遠隔診断・治療	(年間： _____ 回)
(ク) 定期的な症例検討会、研修会の開催	(年間： _____ 日)
(ケ) 紹介患者の受入調整	(年間： _____ 人)
(コ) 総合的な臨床医としての養成・指導の受け入れ	(年間： _____ 人日)

3. 具体的に支援を行っているへき地診療所の名称と医療機関から車、船等での所要時間についてご記入ください。

(名称 所要時間 分)  
 (名称 所要時間 分)  
 (名称 所要時間 分)

4. 巡回診療を行っている無医地区の名称と巡回診療開始年月、医療機関から車、船等での所要時間等についてご記入ください。

無医地区名					
巡回診療開始年月					
対象地区住民の人口(人)					
地区までの所要時間(分)	巡回診療車				
	巡回診療船				
	その他( )				
巡回診療での診療スタッフ数(人)	医師				
	看護婦				
	その他				
巡回診療の診療時間(時間)					
一回あたりの患者数(人)					

5. へき地巡回診療の担当は、どのような体制で行われていますか。

- (ア) 院内の医師全体で対応している
- (イ) 特定の診療科が担当している
- (ウ) 特定の医師が担当している
- (エ) その他 ( )

6. 特定の医師が担当している場合、その医師の院内での勤務状況はどれですか。

- (ア) 院内の診療が主であり、他の医師と同様に勤務させている
- (イ) 院内の診療が主であるが、他の医師よりも院内の診療を軽減させている
- (ウ) 主としてへき地巡回診療を行わせている
- (エ) その他 ( )

7. 自院のへき地医療支援に対する方針についてご記入ください。

- (ア) 事務職を含めた全ての職員が自院の立場・方針を知っている

- (イ) 医師・歯科医師は全て自院の立場・方針を知っている
- (ウ) へき地医療を担当する医師・歯科医師は全て自院の立場・方針を知っている
- (エ) 院内で自院の立場・方針について話題にしたことはほとんどない

8. 自院のへき地医療支援の評価等についてご記入ください。

- (ア) へき地医療支援に関する経時的な統計等が把握され、問題点の抽出や解決策等の議論が記録されている
- (イ) へき地医療支援に関する経時的統計等が把握され、院内に報告されている
- (ウ) 特に評価等は行っていない
- (エ) その他 ( )

9. 代診医を派遣する体制についてご記入ください。

- (ア) 派遣する代診医が決まっており、適切に行われる仕組みがある
- (イ) 派遣する代診医は決まっているが、ルールが明確にされていない
- (ウ) 派遣する代診医が明確になっていない
- (エ) 代診医の派遣は行っていない

10. 現在行われているへき地医療支援は地域の必要をどの程度満たしていますか。

- (ア) 十分満たしている
- (イ) 満たしている
- (ウ) あまり満たしていない
- (エ) まったく満たしていない

11. 今後貴病院が担うべきと考えるへき地支援は何ですか（複数回答可）。

- (ア) 医師配置計画策定
- (イ) 代診医派遣
- (ウ) コメディカルスタッフの派遣
- (エ) 歯科診療支援
- (オ) へき地巡回診療
- (カ) 研修の受け入れ
- (キ) 画像伝送やテレビ会議等の遠隔医療
- (ク) 情報ネットワーク
- (ケ) 定期的な症例検討会・研修会
- (コ) 紹介患者の受け入れ調整
- (サ) 総合的な臨床医の養成指導
- (シ) その他 ( )

12. 貴病院はへき地診療所からの救急患者を受け入れていますか（救命救急センター対応患者を除く）。
- (ア) すべての患者を受け入れている
  - (イ) 紹介患者を主に受け入れている
  - (ウ) 基本的には受け入っていない
13. へき地診療所勤務医師の研修を支援するための定期的な代診医派遣をどのように行っていますか。
- (ア) 病院全体の医師で対応している
  - (イ) 特定の医師が対応している
  - (ウ) 他の医療機関が対応している
  - (エ) ニードはあるが医師が確保できない
  - (オ) ニードがない
  - (カ) 当院の役割ではない
14. 医師が確保できないへき地診療所への医師派遣を行っていますか。
- (ア) 病院全体の医師で対応している
  - (イ) 特定の医師が対応している
  - (ウ) 他の医療機関が対応している
  - (エ) ニードはあるが医師が確保できない
  - (オ) ニードがない
  - (カ) 当院の役割ではない
15. へき地診療所勤務医師自身の傷病や冠婚葬祭等の際に、臨時の代診医派遣を行っていますか。
- (ア) 病院全体の医師で対応している
  - (イ) 特定の医師が対応している
  - (ウ) 他の医療機関が対応している
  - (エ) ニードはあるが医師が確保できない
  - (オ) ニードがない
  - (カ) 当院の役割ではない
16. へき地診療所勤務医師の冠婚葬祭及び研修等で代診医派遣を行う体制は下記のどれですか。
- (ア) 代診医派遣を検討する病院全体を代表する特別な委員会がある

- (イ) 病院全体を代表するものではないが、関係者で協議する体制がある
- (ウ) 担当者が適宜対処している
- (エ) その他 ( )

17. へき地診療所医師の冠婚葬祭及び研修等で代診派遣の実績は下記のどれですか。

- (ア) 必ず要望に応じている
- (イ) 要望に応えられないことがある
- (ウ) 要望に応えられないことが多い
- (エ) ほとんど要望に応えられない

18. 各科の専門医を地域のへき地診療所に派遣していますか。

- (ア) 定期的に派遣している
- (イ) 依頼があれば派遣している
- (ウ) ニードはあるが医師が確保できない
- (エ) ニードがない
- (オ) 当院の役割ではない

19. 技師、看護婦など医師以外のスタッフを地域のへき地診療所に派遣していますか。

- (ア) 定期的に派遣している
- (イ) 依頼があれば派遣している
- (ウ) ニードはあるがスタッフが確保できない
- (エ) ニードがない
- (オ) 当院の役割ではない

20. 現在、地域のへき地診療所との診療に係る情報交換に主に用いられている通信手段はなんですか（複数回答可）。

- (ア) 電話
- (イ) FAX
- (ウ) 電子メール
- (エ) 画像伝送
- (オ) テレビ会議
- (カ) その他 ( )

21. 今後地域のへき地診療所との診療に係る情報交換のために必要な通信手段は何だと考えますか（複数回答可）。

- (ア) 電話

- (イ) F A X
- (ウ) 電子メール
- (エ) 画像伝送
- (オ) テレビ会議
- (カ) その他 ( )

2 2. 遠隔医療などを利用した地域医療支援情報ネットワークについてお答え下さい。

- (ア) 現在実施しており有効に利用されている
- (イ) 実施しているが余り利用されていない
- (ウ) 今後実施を検討している
- (エ) 実施予定はない

2 3. 地域の医療機関からの相談や患者紹介、受診検査予約、診療情報提供等についてインターネットを利用していますか。

- (ア) 現在実施しており有効に利用されている
- (イ) 実施しているが余り利用されていない
- (ウ) 今後実施を検討している
- (エ) 利用する予定はない

2 4. 貴病院は臨床研修指定病院ですか。

- (ア) は い
- (イ) いいえ

2 5. 医師の初期研修の受け入れについてお答え下さい。

- (ア) 現在受入れている
- (イ) 受入れていないが、受入れは可能である
- (ウ) 受け入れる体制がない

2 6. 25で(ア)と回答された方へお尋ねします。研修の内容は下記のどれですか。

- (ア) 多科ローテーション研修の全科を当病院で実施している
- (イ) 多科ローテーション研修の一部を当病院で実施している
- (ウ) 専門医研修を中心に実施している

2 7. 総合的な臨床医を養成するための特別な研修プログラムがありますか。

- (ア) ある
- (イ) ない

28. 27 で (ア) と回答された場合にお尋ねします。総合的な臨床医研修の専任教育スタッフはいますか。

(ア) いる (イ) いない

29. 28 で (ア) と回答された場合にお尋ねします。総合的な臨床医研修プログラムを検討する委員会がありますか。

(ア) ある (イ) ない

30. 地域の医療機関に勤務する医師の週1回程度の定期的な臨床研修を受け入れていますか。

- (ア) 非常勤医師として受け入れている
- (イ) 研修医として受け入れている
- (ウ) 非公式な形で受け入れている
- (エ) 受け入れていない

31. 貴病院で行われている症例検討会や研修会に、地域の医療機関に勤務する医師は参加していますか。

- (ア) 多数参加している
- (イ) 参加者が少ない
- (ウ) 公開していない

32. 貴病院でへき地医療を積極的に支援するために必要と思われる項目は何ですか (複数回答可)。

- (ア) 後方支援病院の役割強化
- (イ) へき地医療支援の企画・立案・調整を行う中核的機関の設置
- (ウ) 国や県などの行政的指導力
- (エ) 広域化による資源の有効利用
- (オ) 総合的な医療や地域医療に関するガイドライン
- (カ) 総合的な臨床医など地域医療に関わる人材の育成と確保
- (キ) その他 ( )

33. 貴病院の診療科は下記のどれですか (複数回答可)。

- (ア) 内科、(イ) 外科、(ウ) 小児科、(エ) 産婦人科、(オ) 眼科、
- (カ) 耳鼻咽喉科、(キ) 脳神経外科、(ク) 胸部外科、(ケ) 整形外科、
- (コ) 皮膚科、(サ) 麻酔科、(シ) 精神科、(ス) 歯科、
- (セ) その他 ( )



34.33で「(ス) 歯科」に○をつけた医療機関にお尋ねします。へき地における歯科保健医療支援として、必要と思われることをご記入願います。

[ ]

多数の質問にお答えくださりありがとうございました。アンケート結果を今後の行政施策に反映し、へき地医療対策の充実に努めてまいります。